

新入生の皆さんへ

第一回 基礎生物学

文学部学生 万代信子

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんはこれから1、2年一般教養の時期を東千田キャンパスで過ごされるわけですが、さて現時点で、どこに何があるかどのくらい知っていますか？ 総合科学部、図書館、体育館、大学会館、生協……がわかっていれば当分は暮らしていけるでしょうが、バイト紹介の厚生課、（男の子なら）一食、二食は早い時期に訪ねてみたらいいと思います。広大の建物では正門から見る理学部一号館がかっこいいと思うのですが、裏にまわると被爆の惨禍を見せてています。私の学部は南グランドの東側の木造校舎です。上空をジェット機が通ると窓枠がゆれるような建物ですが、丸二年そこですごすと“住めば都”というのでしょうか、どの建物よりも愛着があります。他にも名所（？）はあるでしょうが、統合移転のために徐々に学部が減り東千田も皆さんの在学中にかなりの変化があると思います。キャンパスの活気だけは保ってほしいものです。

さて、次はこの広島大学のことを考えてみたいと思います。皆さんはどうして広大を受験なさったのですか？ 成績から、地元だったから、（高校の）先生にすすめられて……個人個人でいろいろあるでしょうね。「実は広大が第一志望ではなかったのに」という人もいるでしょう。三年前の私はしばらくこのことにこだわっていました。でも今は広大に来て本当によかったと思っています。専攻でも課外でもすばらしい人たちに会い、いろんな事が学べました。ちょっと運命論者じみでますが「広大に来なければこの人には会えなかっただろう」と思うと、広大を選んで正解だったと思うのです。大学には全国各地から学生があつまって来ています。それに皆、ある程度自分のスタイルをもっていますから知り合うことはすなわち個

性と個性のぶつけ合いのように思います。自分と違うタイプの人からは本当に違った世界をみせてくれます。特に他学部の人は学問的なことだけではなく物の見方に新たなピントを与えてくれます。多くの人からたくさん話を聞き影響しあい刺激しあう中で自分を大きくできるのではないでしょうか。また、広大には自分（の個性）を生かせる場がいろいろあると思います。私の友人にはそういう場があるからこそ広大が好きだ、という人がいます。その人は大学祭のある企画を作ることによって自分は変わったといいます。そこで活動することによって充実感を得、自分の可能性をさらに発展させられる場はある人にとっては研究室、ある人にとってはサークルかもしれません。

広大なんかじょせん中堅地方大学じゃないか…そういうきてしまわないで、これから大学生活の基盤となるべき広大でより多くの人と知り合い、より多くの場にチャレンジしていただきたいと思います。

——なあんて、少し偉そうなことを書きました。でも私は今年四年になり卒論や卒業後のことなどであわただしくすごすように思うのです。大学は自由だ、と言われていますが、勉強、研究にしたって、サークル、バイトにしたって本当に思うまさにできるのは一般教養の時期ではないでしょうか。私は一年からもう一度やり直すことができたらと思うことがしばしばあります。どうか皆さん何か一つ目標をもち、それにむかってがんばって下さい。

平成元年度生って聞くと言葉のマジックなのでしょうか、本当に新しい人たちがやってきたって気がします。これから広大をつくっていくのは皆さんなんですね。今後の皆さんの御活躍と大学生活がすばらしいものになるようお祈りします。